



廃止措置テクニカルセミナーを開催しました

令和3年3月1日から5日までの5日間、高専生、大学（院）生を対象にした文部科学省国際原子力人材育成イニシアティブ事業「廃止措置テクニカルセミナー」を開催しました。

本セミナーは、原子力発電所の廃止措置をテーマに、廃止措置関連の最先端技術を効果的に活用した研修を実施することにより、廃止措置について理解を深めるとともに、海外技術者との交流を図ることでグローバルな視点を養うなど、原子力分野の将来を担う若手の研究者及び技術者に魅力を感じてもらうことを目的としています。

本年度は、昨年度に引き続き2回目の開催となり、全国の4つの大学から10名が参加しました。大学教授などによる廃止措置の講義のほか、美浜原子力緊急事態支援センターや廃止措置中の原子力発電所の見学、複合現実感（MR）システムなど廃止措置関連の最先端技術の実習を行い、最終日にはグループ討論と一部英語を交えた各グループによるプレゼンテーションを行いました。

受講生からは「大学や専攻の異なる参加者との交流や意見交換を通じて、視野を広げることができた」「セミナーで学んだことを活かして、安全安心な廃止措置の実施に貢献し、原子力の将来を支えたい」「セミナーで学んだ内容を今後の自分の研究に活かしたい」などの感想が寄せられ、これから一層本格化する原子力発電所の廃止措置に対する理解や興味が深まったことが伺えました。

【廃止措置テクニカルセミナー 参加者内訳】

大学院生：4名（福井大学3名、北海道大学1名）

大学生：6名（福井大学2名、福井工業大学1名、近畿大学2名、北海道大学1名）



廃止措置の概論
（講義）



放射性廃棄物の処理処分
（講義）



海外プラントの廃止措置
（講義）



美浜原子力緊急事態支援センター
（見学）



もんじゅ（情報棟）
（見学）



MR システム
（実習）



レーザー除染
（実習）



各グループによる
プレゼンテーション

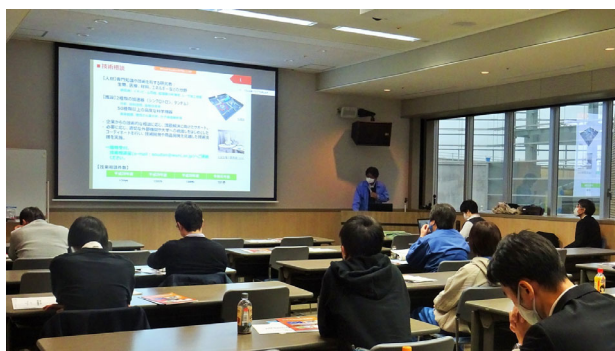
『支援施策説明会』にてエネ研の支援制度を紹介しました

令和3年3月16日、福井県若狭湾エネルギー研究センター及びWebにて、福井県工業技術センター・（公財）ふくい産業支援センター共催の『支援施策説明会』が開催されました。

本説明会は、ものづくり企業の方々に利用いただける各種支援施策について広く知っていただくことを目的に毎年開催されているもので、エネ研は、技術相談・科学機器利用支援や県内企業を対象とした補助金制度について説明しました。

説明会では、低料金でサポート体制の充実した科学機器利用支援や、新技術・新製品の開発に必要なシーズ発掘から技術開発研究、事業化研究を経て販路開拓まで幅広く使える補助金について、具体的な事例を交えながらわかりやすく紹介しました。

そのほか、福井県工業技術センターや（公財）ふくい産業支援センター、近畿経済産業局、福井県産業労働部からも支援施策について説明があり、会場ではパネル展示も行われました。



エネ研支援制度の説明



会場に設けられたパネル展示コーナー

敦賀市の小学校の先生がエネ研を見学しました

地元・敦賀市民の方とお話すると「エネ研の名前は知っているけど、何をしているかは知らない」という声をよく聞きます。エネ研の研究内容を地元の方にもっと知っていただきたいとの想いから、まず、令和3年2月15日、敦賀市小学校教育研究会理科部会に所属する13名の先生を対象に見学会を行いました。

エネ研の特徴である加速器や加速器から得られるイオンビームを用いて実験する加速器室を実際に見ていただき、そこで行われている研究が品種改良や宇宙分野に及んでいることを紹介しました。

見学された先生からは「知らないことがたくさんあったので、時間を見つけて調べてみたい」、「どのような学術研究や技術革新、産業に繋がっているのか、もっと詳しく知りたい」との感想が寄せられました。今後も地元市民の方がエネ研の研究に"わくわく"していただけるような活動に取り組んでいきます。



タンデム加速器の説明風景

本誌を読まれてのご感想、ご意見を下記担当あてお寄せください。

郵便：〒914-0192 福井県敦賀市長谷 64-52-1

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当 あて

E-mail：kikakushien@werc.or.jp

TEL：0770-24-7273 FAX：0770-24-7275

